

ば密雲の如く而も其の一群は二三千羽乃至四五千羽より成る。斯る大群は、他の大群と空中に相送迎して飛遷すると有り。其の飛遷するは、大抵二月初旬より、下旬の間にて、百萬を以て數ふべしと。何が故に羅布淖爾の湖邊へ、斯く多く飛來するかを聞くに、廣漠なる北地即ち新疆以北は、諸鳥の生國にして、一時寒地を避くる爲め、南地(カシミア及印度北部)に飛去するも、其の南方の棲息地は、狹隘にして食餌少なく、且つ雌雄同棲して、雛を養育し難きに因り、北方羅布淖爾邊の氷解を待たず南地より歸還するに外ならずと。

飛遷鳥の  
交代期

羅布淖爾に飛遷する鳥類は、二十餘種あり。而して群集の期間は至つて短く、大抵二週間に交代來往す。斯くて三月初旬より、去て北方に行き、其の飛去は晝間稀にして、多くは夜間を以てす。三月中旬より、湖面は寂寥と爲り、因て土地棲息の鳥類は、稍、自由なるを得るものの如し。

飛遷鳥の  
超越方向

羅布淖爾地方に、毎年飛遷する諸鳥は、常に西より來り、未だ嘗て南より來らす。是等の諸鳥は、里程の近き直路を取らずして、便利なる方向を擇ふとの説ある如く、印度の林中より喜馬拉亞山を越え、直に寒冷なる西藏の高原を飛過せずしてカシ